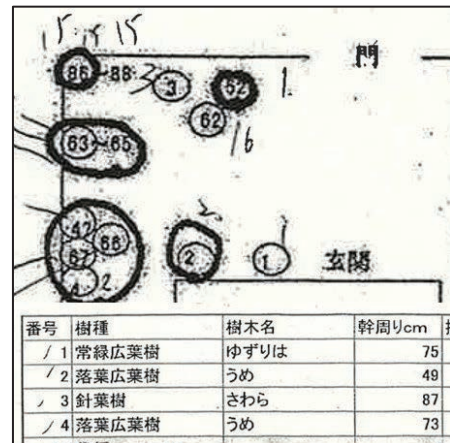


樹木、校庭管理のポイント

Ⅰ 校庭の樹木の把握

Point

- ・樹木位置図を作成する
- ・樹木の位置は見取りで



樹木観察の指導者と校庭の樹木管理担当者が情報を共有するために、樹木位置図を作成します。樹木位置図は、学校平面図など既存の図面に樹木の位置を記入して作成します。樹木位置図に記入する樹木は、観察対象となり得る大木、花木、果樹など主要なもののみでよく、樹木が特定できれば図上の位置は見取りで十分です。大きな樹木は、Web で公開されているマップの航空写真モードで判別できますので、現場で学校平面図と照らし合わせながら樹木の位置を見取れば効率的です。当初は最小限の樹木のみを記入して、「〇年の理科で観察」、「枝に目印あり」といった情報を書き加えてゆけば、樹木観察の指導者と樹木管理担当者が情報共有することができ、樹木観察と樹木管理の双方に役立ちます。